

1 研究の趣旨

インターネットの普及に伴い、コンピュータのネットワーク利用が盛んになってきました。ネットワークの大きな特長の一つは、文字（テキスト）、画像、映像、音声、データベースなどの情報を共有できることにあり、今後、校内 LAN の整備がさらに進む中で、教育活動全般に幅広く活用されると考えられます。特に、データベースは、アプリケーションに依存することなく検索・追加の操作が可能であり、また、データの共同入力やユーザーの制限など（Web 化）が可能となれば、一層効果的に活用されるものと思われます。

本研究では、データベースの検索・追加などの操作を Web ページ上から手軽に行えるシステムの構築を考えました。

2 研究の実践

(1) ネットワーク上でデータベースを運用するシステムの構築

① 開発環境・技術

開発環境・技術は次の4点で構成することとしました。

- ・ Windows2000Server + IIS (Internet Information Server)
 - ※ Windows2000Server には、ネットワーク上でデータベースの運用を行うことができる (Web サーバ) IIS が標準で組み込まれていますので、Windows2000Server のインストールを行えば、自動的に組み込むことができます。
- ・ Internet Database Connector
 - ※ データベースへの書き込みができるファイルです。FrontPage2000で入力ページなどを作成する際、拡張子を idc としてファイルを1つ作成します。これをテキストエディタで開きます。
- ・ Active Server Page
 - ※ Access2000データベースファイルから内容検索を行うことができる機能です。
- ・ Index Server
 - ※ この機能は Windows2000Server のインストール後、Windows のコンポーネントの追加と削除の中で追加します。Index Server は、ネットワーク上のファイル検索を行うことができます。日本語などの全角文字を検索対象とします。